

2023年1月7日裁判司法研究会議事録

1. 概要

【日時】2023年1月7日午後2時から午後5時半ごろまで

【会場】Zoomによる遠隔研究会および会議

【出席者】

山村、玉江、大友、小林、林、巫（6名）

2. 議長の選任

山村さんに議長を依頼し、会議を始めました（途中でパソコンの電池切れになり、山村さんは参加不能になった）。

3. 議論の要約¹

【裁判所にみんなで押しかけることについて】

（山村）今年もよろしくお願ひします。かねがね思ってきたのですが、会の方向性について、どうしようと思ひますか。これまで理論的な勉強会ということで勉強をしてきたのですが、行動しなければ会としての効果がないと思ひます。玉江さんと話したのですが、玉江さんは裁判所に行くと言ひていて、私と意見があつています。ほかの方はどう考へているのでしょうか。実際に行かなくとも、文書を送るのでもいいのです。

（小林）行くと言ひるのは、どこにどういふ理由で何のために行くのかが問題です。定まっているルールに沿つて意見を出しに行けば、相手も受け取らざるを得ませんが、そうでないところでは、応える義務はなく、何にもなりませんよ。私もいろいろ、提出していますが、なかなか効果はないですよ。

（山村）みんなで心を合せてできないでしょうか。やればやるだけの効果はあると思ひます。小林さんは正攻法ですが、正攻法では難しいので、何とかきっかけを作つて話していけば、効果はあるのでは。

（小林）ルールが決まっていなくて話に行くとならば効果が薄いばかりでなく、下手をすると逮捕されますよ。

（山村）喧嘩に行くのではないのだから、捕まることはないでしょう。実際に、自分は捕まっていますよ。

（巫）山村さんは捕まっていますが、実際にこれまで喧嘩しに行ったわけではないのに、捕まった人がいるでしょう。捕まらないとは言えないでしょう。

（山村）捕まったのは、何か問題があつたのではないですか。

¹ 議論の要約であり、この順で、この言葉通りの議論が行われたわけではありません。

(巫) どういう場合につかまり、どういう場合につかまらないのか考えるべきではないですか。

(林) 理路整然と主張して、その人の方が理が通っていてかなわない場合、裁判所は「これはまずい」と思って権力を行使して逮捕ということになるのではないですか。

(山村) 大友さん、裁判でおかしいことがあった時には、みなさんで裁判所に話に行くという行動はどう思いますか。捕まるという人がいるのですが。

(大友) 書類で通ればいいですが、話し合いに行くのもいいのではないですか。捕まることはないと思いますが、裁判所はまともに聞かないでしょう。

(山村) 林さんはどう思いますか。

(林) 一、二度くらいならばいいですが、何度も行くとOさんの例もある通り、捕まえるということになるのではないですか。

(大友) 裁判所は押しかけていった人たちのエラーを狙って捕まえることも考えなければなりませんでしょう。たとえば、裁判所の態度に怒って大きな声をあげると、暴力だと言って逮捕するとか。

(山村) 玉江さんはどう思いますか。

(玉江) 行くしかないでしょう。

(山村) 普通に行けば、捕まることはないのではないですか。

(小林) いや、林さんが言ったように、こちらが正しく、裁判所が対処できないときは逮捕して黙らせることがあります。

(山村) そうですか、では、みんなで行くことはやらないということですね。

(巫) いや、そうは言っていないですよ。

(山村) じゃあ何なんですか。

(巫) 捕まることはないというから、捕まることもあると言ったのです。

(林) 捕まる可能性があっても行くべきかどうかという話ではないですか。

(山村) 分かりました。

【会員を増やすことについて】

(山村) では、もう一つ、前から問題になっている会員の増員について、話しましょう。巫さん、増員する気があるのですか。

(巫) 私に聞くことでしょうか。前から同じことを繰り返していますが、同じ説明をするしかないですね。会員が増えるに越したことはないですが、会の趣旨に賛同して参加してくれる人はそうはいませんよ。また、増員自体を目的に活動することはないですよ。

(山村) どういう意味ですか。

(巫) たとえば、某宗教団体はかつて、〈数値目標を定めて〉いついつまでに会

員を増やしましょうと運動したのですよね。その場合には、内容はどうしても数が増えればいいという話だったと思いますが、そういう運動はしないということです。

(山村) 玉江さんはどう思いますか。

(玉江) 私たちの共通認識は司法の腐敗ですから、そういう問題を広く人々に訴えていくべきではないでしょうか。それがそのまま増員につながるかどうかはわかりません。

(山村) 具体的にどういう運動をしますか。

(玉江) 私は捨て石になっても世の中に問題提起できれば、捕まってもいいと思います。

(山村) そういうことをみんなでやればいいのです。しかし捕まったらだめですよ。

(巫) 玉江さんに、自分は捕まってもいいなどという話をさせた山村さんが悪いのではないですか。

(山村) 私はそんなことは考えていませんよ。

(巫) そうですか。

(大友) 会員を増やすのはいいのですが、会の足を引っ張る人が入るので、気を付けることが必要ですね。

(山村) そういうこともあるでしょうが、あまりそれを気にしても仕方がないでしょう。

(巫) それほど人が入ってこないから、そんな心配はいらぬのではないですか。

(大友) 会員としてどういう人がいいか、実際に裁判を抱えて、裁判に不満を持っている人がいいではありませんか。

(山村) 会則があるのでそれに賛同してくれる人でいいのではないですか。

【会の主張媒体】

(山村) 巫さんはツイッターで会の宣伝をすると約束したではありませんか。

(巫) そんな約束はしてませんよ。そもそも、会のホームページで、会の考え方をずっと主張してきたのですから、それを無視して、ツイッターであれば何かできるというのはおかしくないですか。

(小林) 今までも、会のホームページを見て連絡をくれた人が何人かいましたが、その人たちだって、会員にならなかったのですよ。たとえば、そういう人たちは、自分が抱えている裁判でひどい目にあっている人で、どうすればいいのかと相談してきますが、私たちは弁護士ではないので、裁判で不利にならないような方法を教えることはできないという問題もあります。

(山村) そういう問題は解決していくよう努力するしかないですね。

【玉江さんの喉の手術について】

(巫) 玉江さんの喉の手術に関してはどうなりましたか。病院から返事は来ましたか。

(玉江) 弁護士さんが病院に質問してくれまして、ダンボール箱いっぱいの資料があるのですが、巫さんに送りたいのですが。

(巫) 私は医療のことはよくわかりませんので、送られても読めないと思います。医療のことは林さんがよくわかるのではないのでしょうか。

(林) 私は玉江さんの医療について、過誤など問題があったとは思いません。

【大友さんの事件の説明】

(大友) 前回説明した私の事件で、もっと詳しくまとめようとしていたのですが、友人の女性が亡くなったり、家族が訪ねてきたりして、忙しかったので進んでいません。次回までにまとめられたらと思います。

【小林さんの弁護士紛議調停の状況】

(小林) 今回は時間が無くなったので、報告は次回にします。

4. 次回の予定

次回は、2週間後の日本時間 2023年1月21日(土) 14時から17時くらいまでのZoom会議とします。Zoomホストは小林さんです(米西部時間では、2023年1月20日(金)22時から25時くらい、米ハワイ時間では18時から)。

2023年1月9日

巫召鴻